

1 開会

2 会長あいさつ

・3/1に県立高校の卒業式、明日は市内の中学校の卒業式。県立高校の入試が昨日まで実施されたが、玉名高校や岱志高校など軒並み定員割れ。少子化の波を感じる。僧侶も教職員も人員不足が大きな課題となっている。



3 本年度の振り返り（校長から説明：別紙参照）  
保護者への啓発や家庭の教育力が大きな課題

4 各委員から

氏名	一言
渡邊会長	11月の研究発表会が最も心に残っている。いろいろな考えを大人と一緒に考えたことは、それぞれのいい経験になった。
田中副会長	子供たちが明るく元気になっている感じがする。前向きな姿勢が見えてきた。
岩村委員	自由登校になって無駄なトラブルがなくなったことは一定の成果。一人登校の子供に関して、大人たちの眼で観る環境を作るのが私たちの役目。
與田委員	子供と接する機会が増えた。子供たちは意見をしっかりと言うことができている。保護者のつながり強化が課題。学校では対応できないところを共通理解しながら取り組んでいく。
田添委員	多くの視察を受けたこと。斬新な取組。地域と学校がまとまれば学力は上がるということを県でも話を聞いた。
平野委員	子供たちに多く接する機会が増えた。「子供見守りたい」の活動の中で子供たちの考えや子供たちの社会が見えてきた。今まで知らなかったことが知れた。
平川委員	学校の頑張りが見えた。マンパワー不足。もっと教師を目指す子供が増えてほしい。自由登校になって後れてくる子は登校班の時と比べて増えたのか？保護者の学びはどうするのか？PTAはどうなっていくのか？
池田委員	子供たちは地域のことをよく見ている。子供たちの意見を具現化するチャンスもらった。今の学校の様子を地域で支える取組が必要。拾えていない子供について考えていきたい。
竹中委員	子供たちの成長が楽しみ。子供たちは自信を持って発言や行動をしていることを感じている。取りこぼしのないようにしてほしい。先生たちのお手伝いができる地域の人になりたい。
寺田委員	11月の研究発表会で子供たちとの対話が心に残っている。子供たちは素晴らしい力を持っている。それは、主体者意識・当事者意識を持ってきた成果が出たことがうれしい。今後は、5年生や4年生にも広げていくといい。
山地委員	子供たちとランチミーティングでは、将来を見据えていることが分かった。いろんな話ができ、自分がやることがよく見えていた。

※谷口委員、中村委員、森崎委員は所用のため欠席

## 5 来年度の学校運営基本方針の承認について

- (1) 校長から来年度の学校運営基本方針の説明
- (2) 質疑

・グランドデザインに関して、職員はどのぐらい意識しているのか？

→教育目標がわかりやすく、常に意識するようになった。委員会活動でも、子供たちは3つの資質・能力（主体性、協働性、自律性）を意識した発言をしている。

・学校ガイドにおいてインスタのQRコードは載せないのか？

→インスタについては、本年度スタートした後に開設したので、現時点では掲載していない。今後検討する予定。インスタは子供たちもよく見ているようだ。また、HPも閲覧数が2月末で+10万を超えている。

・SNSやHPに力を入れていることはいいこと。保護者や地域に発信することは大切。

- (3) 学校運営基本方針の承認

全員賛成で承認される

<校長>感謝の言葉。学校運営協議会は同列の良きパートナー。次年度もお願いしたい。

- (4) 教育カレンダーの説明



## 6 その他

【本校PTAについて】 ※與田委員から説明

・2月に臨時総会を行い、今ある形は解散するが、全くなくなるわけではない。

・いろいろな意見はあるが、任意団体のため入会の可否を取り参加してもらえる人に参加してもらう。

・家庭教育に関する問題もあるので、当事者意識を持ってやってもらう。

Q：名称はどうなるのか？

A：今から決めていく。アンケートを取る予定。

Q：市Pはどうなるのか？

A：市Pは検討中である。

Q：家庭の教育力の低下が気になる。

A：今は当事者意識がないので、入ってもらえる人にやってもらう。

Q：どのくらい入りそうか？

A：未知数。ただし、熊本市の学校では6割程度と聞く。

Q：P災保険についてはどうなるのか？

A：入会者はP災保険に入れるし、非会員でも子供だけは加入が可能。

校長：地区協議会ともつながっていくようにする。

会長：「伝え合う」ことの大切さ。いろいろな立場の社会がある。子供に接する職は大変である。教師の中も見えない、保護者の中も見えない「伝えること」を可視化する必要がある。できないことはできないと言えるように地域の基盤があるのでこれからより良い学校づくりを行っていきたい。



## 7 閉会